

悠悠手にしてほしい一冊

第 24 号 宇都宮大学附属図書館
平成 28 年 6 月

何を読めばいいのかわからない…そんなあなたにオススメの図書をご紹介します！
購入予定図書の情報は、準備が整い次第ブックログ版に掲載しております。
ブックログ版には、右の QR コードよりアクセス出来ます（スマートフォン用）。
様々な本と出会い、悠悠自適な図書館ライフをお送りください。



エンジニアのための哲学・倫理：神田雄一 他 著 実教出版

推薦者：工学研究科 教授 古神 義則

工学部生にお勧めです。技術者には深い専門知識と自分なりの拘りも必要ですが“思いやり”が大切です。社会には様々な人々がいて考え方も異なります。グローバルに活躍するには、其々を認識しバランス良く尊重すべきです。本書は、そういった技術者の取るべき基本姿勢について、過去の事例・事故を基に考えさせてくれます。

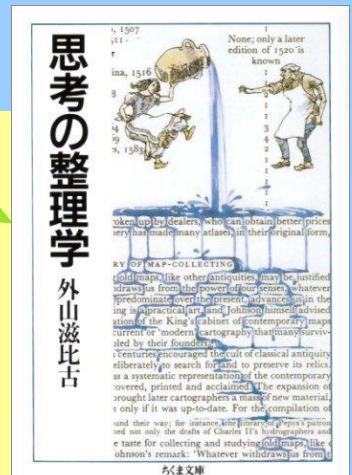
配置場所：分館 1F 請求記号：507||Ka51

思考の整理学：外山 滋比古 著 筑摩書房

推薦者：農学部 准教授 菱沼 竜男

私たちは、寝ても覚めても何かを考えています。考えることって楽しい。けれど、考えることで疲れもする。夢中になって考える時間もあれば、な一んにも考えたくないときだってある。「思考の整理学」は、何かを考えるとき、逆に考えるのを止めるときのヒントを教えてください。より良い思考のためのガイドブックです。

配置場所：分館 1F 請求記号：141.5||P3



『職業としての政治』：マックス・ウェーバー(脇圭平訳)著 岩波文庫

推薦者：国際学部 准教授 松村 史紀

政治は高邁な理想を実現するためにあるべきだと考える人は多い。一方で、政治が実現できることに限りはある。人は欠点も失敗も多い。道徳的に正しいことと政治がなすべきことは必ずしも一致しないのではない。最後の一節「悪魔は年をとっている」「悪魔を理解するには、お前も早く年をとることだ」（原典はゲーテ『ファウスト』）を重く受け止めながら、この問題を考えるとよいかもしれない。

配置場所：本館 3F 請求記号：B31||45

ルネサンス 経験の条件：岡崎 乾二郎 著 文春学藝ライブラリー
推薦者：教育学部 教授 梶原 良成

芸術とは何であるか考えたことがありますか。西洋が現代へ向かう転換点であるルネサンスを切り開いた建築家ブルネレスキと画家マサッチオという二人の天才的革新者の仕事を通して、芸術の可能性に肉薄しています。本物を体験しなければその作品の凄さはわかりませんが、芸術がいかに関わりの生きることに深く浸透していくかということをこの本から感じとることができるでしょう。

配置場所：本館 2F 請求記号：702.05||048



風の中のマリア：百田 尚樹 著 講談社
推薦者：図書課職員 芳賀 匠

皆さんは蜂を見てどんな感情を抱きますか？特に、スズメバチに対して。“怖い”と思う人が多いと思います。本書ではオオスズメバチが擬人化され、オオカマキリとの闘争、主人公マリアの戦士として抱える葛藤、仲間との絆などが生き生きと描かれています。と同時に、スズメバチの生態についても緻密に描かれています。読み終えた後、あなたは彼女たちオオスズメバチを次のどちらだと思われるでしょう。攻撃的で残酷な生き物か、誇り高い戦士たちか？

配置場所：本館 3F 請求記号：S91H99



地震との戦いーなぜ橋は地震に弱かったのか：川島 一彦 著
鹿島出版会 推薦者：地域デザイン科学部 准教授 藤倉 修一

阪神・淡路大震災が起こるまでは、日本の橋は、世界一安全に造られていると信じられてきた。しかし、この地震で多くの橋が被害を受け、本書は、なぜ橋は倒壊したのか？という疑問からはじまり、これまでの橋の耐震技術開発の歴史を振り返る。専門知識のない人でも、非常にわかりやすく、丁寧にかかれた良書である。

配置場所：本館 3F 請求記号：515.1||Ka97

